

公述人 NO.8 足立隆子

《口述要旨》

私は小平市で1998年よりプレーパーク活動をしています。この道路計画予定地の中央公園東側の樹林地でロープ遊具や穴掘り昔遊びなど、最近ではできなくなってしまった能動的な遊びの場を提供しています。このような豊かな遊びができる場所はもはやここしか残されていないため、もしここが道路になってしまったら小平ではもう遊び場がありません。以前東京都の説明会でこのことを質問したら、きつねっぱら公園ができたのでそこですればよいとの回答でした。しかしそこは細い木しかなくてロープ遊具は使えませんし、夏場は木陰すらありません。そんなところで遊んだら熱中症が続出して危険です。私たちは子どもをそんな危険な目に合わせることはできません。

中央公園の林は緑豊かで夏涼しく子どもたちも大好きな場所です。このような素晴らしい自然はなんとしても次世代に残していくことが大人の義務であると思います。夏の暑い時期のこの林と外側との温度差は図っていませんが、10℃くらいあるのではないのでしょうか？年々突風やゲリラ豪雨など、気象の変化が激しくなっていることの要因の一つは、緑地の減少や車線の多い道路など地面のアスファルト化にあると思います。道路ができた場合どれほどの影響がでるのか予測してもらいたい。環境影響評価書に温室効果ガスについては自動車交通から排出される二酸化炭素については対象外と書かれていたが、道路の照り返しによる気温の上昇の予測を現在と比較して調査するべきです。環境アセスメントではこの点に触れられておらず不十分です。ぜひ再調査してください。

先ごろ発表された「小平市第二次環境基本計画」によれば、”緊急の課題である地球温暖化対策や、環境意識調査で要望が高かった緑の保全など自然環境に対する施策“に力を入れるとあるのであるから、これに矛盾することは計画を中止してもらいたい。

また東京都の「多摩地域都市計画道路基本計画の基本方針及び基準」においても“主要幹線道路及び幹線道路は、原則として小学校区、日常買物圏等の近隣生活圏を分断しないよう配慮するものとする”とある。3・2・8号道路予定地は市立第一小学校に近接しています。この東京都と小平市の計画方針と矛盾する3・2・8号道路は受け入れるわけにはいかない。中止を強く望むものであります。

この道路計画が発案されたころ多摩地域は緑が多かったが、今では大幅に減少しています。また府中街道はひどく混雑していた時代もあったが、今では吉祥寺・立川間には14本の道路ができて渋滞は大幅に緩和されています。これ以上莫大な税金を使って地球環境を悪化させる道路を作る必要はないと多くの小平市民が考えています。